

# 上下水道料金収納業務委託で行政力の低下懸念

市上下水道経営審議会

4日、第1回市上下水道事業経営審議会が開催され、上下水道事業の概要や決算状況、来年度から実施予定の料金収納等包括的業務委託などについて報告されました。

10業務委託「効果的  
事業運営を図る」

業務委託については、10の業務を3つに区分けし、それぞれに

業者の技術力や能力、業務の提案内容を総合的に判断する「公募型プロポーザル方式」を採用。選定委員会では7月下旬に受託候補者が選定され、選出された3事業者により設立された新たな特別目的会社と3つの業務を包括した委託契約を締結するとしています。

市は包括的業務委託の目的として、「民間活力導入の可能性を追求する」としています。

及し、より一層の業務改善、効率かつ効果的な事業運営及び経営基盤の強化を図ることを掲げています。料金収納や滞納整理業務の強化が進むことで、生活困窮者への徴収強化が懸念されます。また審議会では、来年度から10年間の水道事業の方向性を示す指針となる「水道事業ビジョンの策定」と「上

## 委託業務と範囲

- ①窓口等受付業務
- ②料金調定業務
- ③システム関連業務
- ④料金収納業務
- ⑤滞納整理業務
- ⑥検針業務
- ⑦開閉栓業務
- ⑧メーター交換業務
- ⑨庁舎管理業務
- ⑩浄水施設保守管理業務

## 委託候補者

第一環境(株)東北支店  
(仙台市)  
鶴岡管工事協同組合  
(株)東北サイエンス

## 包括的業務委託先

上記の3事業者により設立された新しい特別目的会社へ

## 特養整備は、なお緊急課題

県に求めている、特別養護老人ホームの入所待機者の状況について、県健康長寿推進課がおこなった調査の報告を受けました。

入所を申し込んでいる人が、前回調査(平成25年10月)で8225人であったのに対し、平成28年4月1日では6666人でした。

その内、要介護1と2の2034人は、認知症など特別の理由のある方以外、入所対象から除外する制度改善がおこなわれました。

また今回初めて「緊急度」も調査され、要介護3以上の4632人の内、施設が「入所の必要性が

高い」「1年程度で入所が必要となる見込み」と判断する方が842人にのびりました。

県は待機者が1559人減少した要因として、3年間に902床増床数されたこと、居宅介護を支える地域密着型サービスの基盤整備が進んだことを上げています。

鶴岡市の待機者は前回比で349人減少しましたが、1006名と山形市を上回って県内最多となっています。

施設サービスの中核である特養の整備は、引き続き、介護保険の重大課題です。(県議 関 徹)



6日、共産党第四学区後援会主催の「加藤太一さんと一緒に平和を守る歌声の集い」が行われ、60余人が参加しました。(記事2面)

## 「戦争法と憲法改悪を許さないために」

講師 宇都宮健児氏  
(日本弁護士連合会元会長)



とき:11月26日(土)  
ところ:つるおか協同の家こぴあ2階ホール

13時30分~ つるおか・たがわ九条の会総会

14時~ 宇都宮健児氏講演 資料代:500



下水水道事業経営効率化計画の策定」について説明がされ、来年2月に予定する次回審議会でも市当局の提案をもとに協議し決定してゆくこととされました。

県内一高い料金の軽減を

日本共産党市議団は、これまで議会の場で自治体の業務の一部を「アウトソーシング」する料金収納等包括的

業務委託について、職員配置転換、委託先との「偽装請負」への懸念、職員の専門的知識を喪失する行政力の低下や、それに伴うサービスの低下が懸念されることから反対をしてみました。

また、県内の自治体でも一番高いと言われている水道料金、下水道使用料についても、住民負担の軽減を図るためにも見直しを求めています。



# 党上郷支部「ごみ問題学習講演会」開催

## 岩佐恵美元衆・参院議員が講演、75人参加



「ごみ問題の基本」と題して講演を行う岩佐恵美さん(3日、上郷コミュニティセンター)

3日、日本共産党上郷支部と日本共産党鶴岡市議団の共催で「ごみ問題学習講演会」が上郷コミュニティセンターで開かれ、環境・資源・廃棄物問題研究家であり元衆・参院議員の岩佐恵美氏が講演を行いました。

講演会には上郷地区の住民など75人が参加しました。

ごみ問題はいのちを守る重要な課題

岩佐氏は「ごみ問題

郷地区・大荒里山の自然と住民の生活環境を保全する会」の佐藤安太郎氏が市が計画している上郷大荒地区への最終処分場の問題点を上げ、別の場所への建設を訴えました。加藤太一市議が開会のあいさつをしました。

## TPP、安保法…国民の意志に反する政治を変えよう

「加藤太一さんと一緒に平和を守るうた」の集い開催

6日、日本共産党第四学区後援会(須藤誠一会長)主催による「加藤太一さんと一緒に平和を守るうた」の集い」が第四学区「コミュニティセンター」で行われました。

集いには60余人が参加しました。

坂本昌栄さんの司会で進められました。

集いでは、アコordeイオン奏者の小林康一さんの伴奏でノーベル文学賞を受けたポプテイルンの「風に吹かれて」など参加者のリク

参加者からは「とても楽しい企画、またやって下さい」との声が寄せられています。

## 農業委員定数削減、公選制廃止で「農民の代表」から「行政の下請け」へ

農業委総会で承認、来年の改選から任命制に

10月26日、鶴岡市農業委員会(三浦伸一会長)の総会が開かれました。

総会では、農業の担い手支援策や稲作農業のセーフティネット対策など来年度の市の農業振興施策と予算に関する建議書、「鶴岡産そばの地産地消に関する要望書」(発議者・荻原優太委員)日本共産党)など6つの議案が審議され、承認されました。

農業委員45人から20人に削減

農業委員は平成29年11月に改選を迎えます

題の基本」を考える」と題して講演、「ごみ問題は環境と資源、いのちを守る重要な課題」「ごみ問題はまち作りにつながる問題で楽しい課題」「大切なことは燃やすごみの減量、住民と自治体の協力が不可欠」と話しました。

鶴岡市の問題点として、資源化率が低いことと事業系ごみの割合が高いことと指摘しました。

「大荒里山保全する会」が処分場建設場所変更を訴え

講演に先立って「上

者」として公選制の選挙で選ばれてきた委員が、首長の任命制に変わり、定員も大幅に削減されます。

公選制廃止は、任命制に変わることと恣意(しい)的な選任となることが危惧され、また目的規定から「農民の地位の向上に寄与する」、業務から「農業、農民に関する意見の公表、建議」を削除されたことから、農民の代表機関としての権限が弱められ、農地の最適化、流動化のみを行う行政の下請け機関に変質させられることが危惧されます。

安倍政権が「農民の地位向上」「意見の公表、建議」を削除

安倍政権のもとで、昨年農業委員会制度の改悪が行われ、「農家の番人」「農家の代弁

### 下水道課入札結果 ( ) 内は予定価格

- 11月2日入札分
  - ・市公共下水道事業 汚水3-1H038~045号新設工事(白山地内)(入札16業者うち1業者欠席、1業者辞退)
    - (株)誠朋建設 50,000,000円(51,679,000円) 工期~29/3/22 (落札率96.8%)
  - 10月28日入札分
    - ・市集落排水事業 羽黒中央地区処理施設消雪設備工事(その2)(羽黒町狩谷野目地内)(入札2業者)
      - 日栄産業(有) 9,370,000円(9,450,000円) 工期~29/2/21 (落札率99.2%)
    - 10月26日入札分
      - ・市集落排水事業 羽黒中央地区管路施設10-1~2号新設工事(羽黒町黒瀬地内)(入札8業者うち1業者辞退)
        - (株)山田工務店 23,650,000円(24,392,000円) 工期~29/1/10 (落札率97.0%)

### 建築課入札結果 ( ) 内は予定価格

- 10月27日入札分
  - ・旧湯田川小学校解体工事(入札14業者)
    - (株)山本組 56,500,000円(57,660,000円) 工期~29/3/10 (落札率98.0%)
    - ・小真木原野球場スコアボード改修工事(入札10業者)
      - (株)渡会電気土木 68,600,000円(69,260,000円) 工期~29/3/29 (落札率99.0%)